



横浜市立釜利谷東小学校

5月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 2019年4月25日

ひがしの願い

ひとつの命
がんばる心
しんじあう仲間

笑顔いっぱい、挨拶いっぱいの東小へ

校長 皆川 誠

満開の桜の花が終わって、木々の緑がまぶしい、若葉の季節になりました。新年度が始まり、新しい学年、新しい先生や友達と出会っての学校生活も3週間が過ぎました。

去る4月10日には、「1年生を迎える会」が行われ、釜利谷東小学校への本格的な仲間入りを果たしました。その会は、高学年の運営委員会の児童が中心となって計画を立て、当日の運営も行いました。2年生以上の児童は、歌やアサガオの種のプレゼントをしたり学校紹介をしたりと、それぞれの学年ごとに1年生への歓迎の気持ちを表していました。1年生も、とても楽しそうに参加していたのが印象的でした。

さて、今年の5月1日には、元号が「平成」から「令和」へと変わります。「令和」は、「大化」(645年)から数えて248番目にあたるそうです。この「令和」が発表された日には、新元号について「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている」という説明もありました。

この新元号に込められた願いは、私が釜利谷東小学校に対する思いと共通する部分があります。それは、本校に通う子ども同士は勿論のこと、子ども・保護者・地域の皆様・教職員が互いに信頼し、心を寄せ合う中で、より良い教育活動を生み出すことができるということです。

そのために、私は、挨拶はより良い人間関係を構築する第一歩と考え、今年度最初の朝会で「挨拶は、相手の気持ちを明るくし、元気を与える魔法の力を持っている」という話をしました。そして、「『自分から先に』『笑顔で』『名前を呼んで』、この3つを意識して挨拶をし、明るい素敵な挨拶があふれる釜利谷東小学校にしていきたいと思います。」と投げかけました。

その日の午後には引き取り訓練が行われ、多くの保護者が来校されました。迎えにいらした保護者の方と下校する様子を職員室前で見ていると、保護者の方からも明るい素敵な挨拶を受け、その魔法をかけられた気持ちになりました。

元号が変わり新しい時代の幕開けとなるこの節目の時期にあたり、これまで培われてきたものを土台とし、より充実した教育活動の実現に向けて、まずは、素敵な挨拶を通して、学校・家庭・地域が心を寄せ合っていくことができるよう教職員一同努力してまいります。

最後に、5月25日(土)は、「東小ジュニアカップ」です。ゴールデンウィークが明けると、運動会の練習が本格的に始まります。保護者並びに地域の皆様には是非ご来校いただき、児童の頑張りに温かいご声援をお願いいたします。